

1 学年県内企業・施設研修報告

◇期 日:令和3年10月14日(木)

◇場 所:16H:スギノマシン、榊田酒造店、イタイタイ病資料館

17H:榊田酒造店、イタイタイ病資料館、
富山県環境科学センター・エコラボとやま

◇参加者:1学年探究科学科 77 名

10月14日(木)に実施された県内企業・施設研修では、第1学年探究科学科生徒77名がクラスごとに県内の施設や企業を訪問した。

岩瀬では、榊田酒造店社長の榊田さんの案内のもと、岩瀬の街並みを巡り、その魅力を堪能しながら、街づくりの工夫について知ることができた。榊田さん自身が直接感じてこられた、外国と比べた日本人の気質などのお話を伺うとともに、岩瀬を世界に向けて発信させようとする情熱に刺激を受けた。

イタイタイ病資料館では、映像資料や展示を通して、富山県で起こったイタイタイ病の原因やその恐ろしさ、イタイタイ病からの復興の歴史などを学んだ。汚染された土地の復興の難しさやその規模の大きさ、患者の病弱した姿やその家族への偏見などを知って、公害というものの恐ろしさを改めて感じ、二度と起こしてはいけないものだと思った。

県内有数の企業であるスギノマシンでは、第一次大戦頃の飛行機に付く水滴から着想を得て開発されたというウォータージェット機の技術力の高さに思わず驚嘆の声をあげた。また、今後いっそう重要になってくることとして、「論理的思考力」、「数字のリテラシー」、「対人的なコミュニケーション能力」の3つの力についての話を聞いて、将来への意識が高まった。

環境科学センター・エコラボとやまでは、牛乳とレモン果汁を混ぜ合わせ、生分解性プラスチックという、微生物によって分解されるプラスチックを作り出す実験を通して、科学技術が身近なところにあるということを理解した。地球温暖化やマイクロプラスチックなどの、環境に関する様々な資料もあわせて見学し、生徒一人一人が環境をより良くしようと思いを新たにしました。

富山県内の企業や資料館での研修を通して、世界に誇れる人や企業そして技術が、ここ富山にあることを実感することができた。物事を見通す新たな視点を得ることにより、探究活動や自らの進路についてさらに考えをめぐらすことができた貴重な体験となった。
(16H 寺西・17H 西田 記)

